



風化させないで、戦争の記憶

次世代に伝えたい平和の尊さ

数多くの犠牲者を出した第二次世界大戦の終結から67年が経とうとしています。

広島と長崎に投下された原爆は、一瞬にして多くの尊い命を奪い去り、今も被爆者の苦しみは続いています。

年月を重ねるとともに戦争を知らない世代が増加していく中、私たちは悲惨な戦争の記憶を決して風化させてはいけません。戦争を二度と繰り返さないよう、平和の尊さや命の大切さなどを次世代に伝えていかなければなりません。

小・中学生や高校生など若い世代に戦争被害の実相を伝え、平和について考える機会となるよう、平和展を開催し

平和展



ます。この機会に家族や友達と、平和について考え、話し合ってみてはいかがでしょうか。

▼日時 7月2日(月)～8日(日)9時～17時
▼場所 市役所7階市民展示ホール
▼内容▽写真パネル 広島・長崎に投下された原爆の被害を紹介▽サダコと折り鶴ポスター 戦時中の子どもの生活、原爆の犠牲となった子

どもたちのことを解説▽戦中の品々 市民から提供された、戦時中に使っていた物や戦没者の遺品などを展示▽戦争体験講話 7月7日(土)14時から(30分程度)▽記録映像やアニメの上映▽平和に関する図書・絵本の展示▽折り鶴作成コーナー▽協力 市民・市遺族会(展示品提供ほか)、母と子の原爆展実行委員会(市民ボランティア)▼市民協働課 ☎70・5640



昨年の平和展

～折り鶴を広島へ届けます～

小学生広島派遣事業「あやせっ子平和学習生」の児童20人が、平和への思いを込めて、折り鶴を広島平和記念公園へ届けます。

折り鶴作成コーナーを、6月15日(金)～7月8日(日)、市役所1階市民ホールに設けています。作成にご協力ください。



サダコと折り鶴ポスター ～その想いはツルにのって～

このポスターは、2歳で被爆し、10年後に白血病で亡くなった佐々木禎子さんの一生を中心に、戦時下の子どもたちの生活、原爆の犠牲となった多くの子どもたちのことなどを分かりやすく説明したもので、戦争の被害と平和の大切さを伝えていきます。



市民が語る戦争体験記集

戦争の恐ろしさと平和の尊さを次世代に伝えるため、市民の戦争体験記をまとめた「伝えていきたい戦争の記憶」を発行しています。

この冊子は子どもから見た戦争や、シベリアでの悲惨な体験など、市民44人の当時の記憶をまとめています。市ホームページで公開しているほか、1人1部に限り無料で配布(市外の方は1部400円)していますので、ご覧ください。



綾瀬市核兵器廃絶平和都市宣言

核兵器を廃絶し、世界恒久平和を実現することは、世界唯一の核被爆国日本の全国民共通の願いである。

しかしながら、地球上では今なお核兵器の増強が進められており、世界の平和と人類の生存に深刻な脅威を与えている。

綾瀬市は、国是である非核三原則の順守と、すべての核兵器の廃絶を希求し、恒久的な世界平和を願い、核兵器廃絶平和都市となることを宣言する。

昭和59年12月19日

綾瀬市